

SINCE 1994

発行 上田高等学校同窓会 中南信支部  
題字 松岡翠風(仁太郎)(39期)安曇野市に居住し全日展書法会副会長などを歴任された

# ご挨拶 支部長 小池健一 (67期)

組織の維持・発展には、いかに後進につないでいくかが不可欠です。後輩に自分の思いを強制するのではないものの強い希望としてこの思いを伝えたいと、皆さん常日頃から感じているのではないのでしょうか。

父親から息子へ襷をつないだ一例として、黒田官兵衛と長政親子があげられます。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の乱世の時代を生き抜いた黒田官兵衛と息子の長政の性格は全く違っていましたが、父の官兵衛は謀り事、息子に長けた策略家である一方、息子の長政は常に正々堂々と正面から敵にぶつかっていくタイプでした。このため、官兵衛は人に恐れられましたが、長



昨年からはめた人間ドックの診察場面

しれなかつたのです。これを契機に長政は調略を用いるようになり、実際にケ原の戦いでどちらに勝つていくか迷っていた福島正則を東軍に引き入れました。父は息子に正解は1つだけとは限らない、正攻法だけではないやり方があることを教えたかったように思います。

昨年年度の総会には60年以上卒業年度が違う同窓生が集まりました。情報交換や思い出を語る同窓会という場は非常に貴重であり、楽しいひと時です。中南信支部は、会報の発行に加えて総会、新年会、そして毎月第二木曜日に開かれる月例会兼幹事会等、アクティブに活動しています。特に、総会の懇親会では、学年毎に会員一人ひとりが近況を話すのほとても良い習わしだと思います。今年の社会講座講師は信州上田医療センターの吉澤 要院長(72期)に依頼しました。彼の熱い思いが在學生に伝わってほしいと思います。

ました。この理由は、肥後の城主となった佐々木氏が領地支配に手こずったことが原因で秀吉に切腹を命ぜられたため、同じ運命をたどるかも

パワフルな中南信支部に育ててこられた先輩諸氏に敬意を表し、さらに発展するよう、若い世代にも積極的な参加を呼びかけ盛り上げていきたいと思います。

## ～第26回支部総会のご案内～

■日時:11月16日(土)

■会費:¥7,000 (学生の方は¥3,000)

第一部のみ参加される方で、'19年度支部年会費1,000円を納入された方は無料です。返信葉書で出欠をお知らせください。

14:30 開場

15:00~15:45 第一部 : 総会

16:00~16:45 第二部 : 記念講演

17:00~19:00 第三部 : 懇親会/ハンドベル演奏、尺八(初谷澄夫氏67期)演奏

■会場:ホテル モンターニュ松本 (駅から徒歩1分) 電話 0263-35-6480 松本市巾上3-2

### 記念講演 日弁連(前)会長・日本弁護士政治連盟理事長

村越 進(むらこしすすむ)氏 (67期) 演題「日弁連とは何者か」



村越進氏 (67期)

司法試験合格者の激増に伴い、毎年千数百名の弁護士が誕生し、弁護士数は4万人を超えました。その全員が加入を義務づけられているのが日弁連です。日弁連は、どこの役所や大臣の指導にも服すことなく、独自に弁護士の資格審査や懲戒を行っています。日弁連が、どのように意思決定をし、どんな活動をしているのか、お伝えできればと思います。

#### 略歴

1950年、上田市生まれ。73年、司法試験合格。74年、東大法学部卒業。司法修習生。76年、弁護士登録。2008年、第一東京弁護士会会長・日弁連副会長。2014・2015年、日弁連会長。2017年から日本弁護士政治連盟理事長。

# 北国街道を歩く 64期のみなさんの健脚ぶり

上田高校64期生のみなさんが、2017年4月〜18年10月にかけて旧北国街道を歩いて記録を冊子にまとめられています。清水計枝（かずえ）さん（71）は東京都杉並区が60歳で始めた「街道



関川関所跡 疲れも忘れて笑顔の瞬間・64期の方々

「北国街道の旅」は2017年4月に始まり、2018年10月まで計10回行った。地図参照。のべ344人が参加。「歩数」は約47万歩に上った。北国街道は中山道の追分から佐渡を対岸に臨む出雲崎までの217キロ。かつて北国街道は、佐渡でとれた金銀を江戸に送るといふ重要な役割があった。

64期の旅は信濃追分をスタート。小諸宿では荒町から本町にかけての風情ある通りを歩き、重要伝統的建造物群保存地区に

を歩いた。上田では、「古城の門」はもちろん、上田城跡、塩尻地区の「蚕種の里」などをめぐる。戸倉から矢代宿、小丹波島宿から善光寺宿へ。小林一茶の句碑が建ち並ぶ柏原宿、そして越後の国へ。日本海の海沿いの道もあるき、フェリーで佐渡へ。ここでは9組が一年の時に担任だった本間先生にお世話になるというありがたい縁にも恵まれたという。

ひとくりにすれば、上記のような行程だが、「歩く」ということがおもしろさを引き出してくるという。北国街道は、母校や通学区域の中を通る生活道路で、学生時代は「街道」というイメージはあまりなかったというが「歩いてみなければ分からないこと何と多かったことか」と振り返るのは林さ

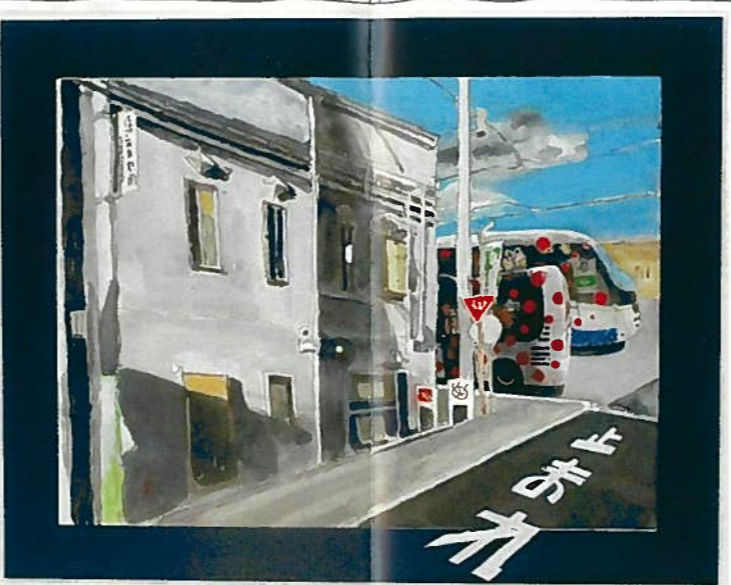


金を掘り続けた結果、山に割れ目ができたといい「道遊の割戸」の前で64期の方々

ど、こうやって一緒に旅できてうれしかった」と倉沢さん。当時はみな学生なので未来を向いていて、郷土の良いとこを改めて振り返るといふことはなかった。今回、上田の城下町を歩いた時は昔話が花さかり。「学校さぼって、お城に来ていた」

歩き」で、中山道、東海道の続き北国街道が締めくくりとなりました。「基本は徒歩」という先輩方の健脚ぶりがうらやましく、清水さん「1組」、林久美子さん「9組」、倉沢直彦さん「5組」にお話を伺い

指定されている海野宿では、昔の旅人になった気分です。宿場町



武村洋治(58期)「草間弥生・841号」

64期のみなさんが上田高校の学生の頃、柳町は今のよう綺麗ではなく整備もされていなかった。全部で9組、450名の中で36名が女性だった。「あのころは女子学生に話もできなかったけ

「柳町ってこんなにきれいななかったよね。地元なのに知らないこともたくさんあった。今回、上田の城下町を歩いた時は昔話が花さかり。学校さぼって、お城に来ていた」

利用した。ただし、旧街道筋にはコンビニがない場所もあって大変だったそう。時にはお寺の軒先を借りて、休憩したこともあるという。

が同窓生たちの連絡先を集約し、メールやLINE、Instagramを作った。おかげで、一挙に連絡の効率が上がった。ゴールするころになると、参加者は総勢16名になり男性が8人だった。中山道の終点となる京都の三条大橋に着いたのは2012年12月1日。上田高等学校・同窓会本部からはハッピーと六文銭の幟旗を借りて来た。山科か

らは遠くに三条が見下ろせ、ゴールの三条大橋にたどり着くころは涙目になった。一番最初から決めていることは、男性は女性より前を歩かない。女性の脚力で歩むことが「歩く会」の約束だ。和峠を越えるころには、清水淳郎さん（城郭の書籍の



北国街道のゴール地点・出雲崎の「良寛堂」での1枚

出版で知られる碧水社社長）が加わった。すでに東海道と中山道の街道歩きを経験されていたことから、京都を発して東京・日本橋に至る逆ルートを歩く企画が始まった。その前に、中山道で何度も見かけた火除けの神社・秋葉社を訪問する企画を挟んだため、東海道・街道歩きは2013年10月5日に京都を立つた。この徒行が終着の日本橋に至ったのは2016年10月16日であった。

企画役の清水さんからは「元氣なうちはアイデアあるから出掛けようよ」と言われているという。次の行き先は？ 旅は人との出会いが大事、いつも発見があって楽しいというみなさんの話が心に響く。



「北国街道に行く」の全行程を俯瞰する

11年にわたる企画が成功したのは、チームワークがすばらしいからだ。清水淳郎さんは、いつもあれこれとアイデアを思いつき、構想に思いを巡らせるのが得意である。清水計枝さんはそれを現実の実行プランに落とし込むことと統率力に長けている。それを石井則男さんがホームページで発信してくれる。

取材聞き取り…76期 長坂文夫「3組」 文章…79期 井上裕子「1組」 写真は、64期 ホームページ管理者・石井則男氏「4組」のご好意で使用する許可をいただいています。

内川啓(68期)安曇野市 農業に従事している関係で、地元JAの理事職に就きました。改めて現農業がおかれている現状をしっかりと把握して、活動したいと思えます。

中村邦男(70期)飯田市 飯田・下伊那は電車を中心とする高速交通網から取り残されている感もあります。が、実は、小牧・中部国際の両空港へのアクセスは、1時間半〜2時間と意外に便利です。先日も日本最北端の



稚内・宗谷岬へ泊二日で行ってきました。

清水 茂子(77期) 飯田市 大学進学後、就職先は地元を離れてしま

「我が子も含め」子供達が多くて残念です。地元の魅力発見のため、高校でもより地域発

見や地元を見直す機会を作ってほしいです。進学校は特に。

深澤 昌美(49期)箕輪町 招かれて第100回高校野球記念開会式に参列しました。久しぶりのグラウンド。これが最後と思いつつながら球児の力強い行進を見つめました。

〈受賞せし孫共々に 懐かしく 若人集う球場に立つ〉 小池 健司(54期)岡谷市 家庭菜園で、買った方が安い野菜を楽しんでいます。補聴器の世話になることになりました。新聞が来れば、まず「おくやみ」欄から目を通すのが習慣になっています。やれやれ。

林 庄平(52期)下諏訪町 11月3日は、戦中は明治節。戦後は文化の日。平成の次の時代も変わらず文化の日として継続されるのだろうか。「菊花香る日」

ハンドベルも、尺八も、ライブ演奏が聞ける同窓会と言えば...

### 第22回 SBC 県高校 OB 対抗

#### ゴルフ大会に参加して

去る7月3日豊科カントリークラブで開催された第22回SBC県高校OB対抗ゴルフ大会(30チーム参加)に、上田高校Bチームは大口静雄・荒井純平両先輩(59期)と上田高校OB女性として初めて参加の加藤(旧姓山崎)俊子(73期)さんを交え参加しました。また上田Aチームとしては今年も堀内廣一・馬場敏博・中島良一・小島昭英(66期)の4氏も参戦されました。

当日は晴天とまではなりませんでしたが、まあまああのゴルフ日和に恵まれました。上田Bチームとして、初めて女性としてくれた加藤さんを喜ばしてあげたいと後期高齢者3名は力いっぱい、頑張ったつもりではありません



上田高校Bチームのみなさま

が、残念ながら老兵の努力は報われず、またハンデにも恵まれず13位という結果になりました。

加藤さんこれに懲りずにまた参加してください。来年は女性だけのチームを結成して参加も検討しては

けのチームを結成して参加も検討してはいかげとも考えます。因みに、深志・県ヶ丘は、それぞれ5チームで参加しています。上田Aチームは17位となり、上田高校チームでは、後期高齢者の勝ちとなりました。

(文と写真...60期・篠塚嗣雄)

### 「魂の奇跡とその先」真道茂遺作展

#### オーブニングセレモニーに参加して

昨年訃報をお伝えした真道茂氏(54期)の遺作展が、7月25日から9月23日まで諏訪市美術館で開催されました。武村洋治氏(58期)に伝えていただきます。

真道先輩54期、私は58期。ところが(編注...東京芸大を目指された)先輩は部室のロッカーを二人分使う先輩面。甲田洋二班長(56期)「前・武蔵美大学長」も一言のクレームもなく、みんな揃って緊張感あふれる仲良しこよし。高校時代は長崎茂。再びお目に掛かったら真道に変わっていい訪市に住んでいました。



真道杉さま、彩さま (長女・次女)

長野オリンピックの医事総責任者で、初代支部長も務めた小林茂昭氏(54期)は、真道!小林!馬場!石田!清水!林!と呼び合う間柄。ところが54期の弔文は私が書きました。喪主・ご長女真道杉さんからスピーチを頼まれました。(編注...武村氏は丁重にご辞退されたとのこと)

乾杯は小林茂昭先輩。乾杯の前にひとこと!訳すところ?

仕方がない!最後は校歌斉唱!私の出番!と思っただけ、年長の先輩が出てきて校歌斉唱が続いて寮歌斉唱

真道茂を「徳ぶ会」は溢れんばかりじゃなく、溢れかえって、私は壁の花椅子でした。料理飲み物は真道彩さんが運んでくれました。(文と写真...武村洋治)

【編集後記】出欠はがき投函前には会報掲載・可否の欄をお忘れなく。